

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 『AAC』2016年Vol.87 | 『国立演芸場公演ガイド』平成28年3月号 |
| 『Confettiかわら本』2016年2月号,3月号 | 『大向う』平成28年3月号 |
| 『あぜくら』2016年2月号 | 『伝統文化新聞』2016年(117号) |
| 『アクチュール・ステージ』Vol.7 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成28年3月号 |
| 『シアターガイド』2016年4月号 | 『日本照明家協会誌』2016年2月号 |
| 『テアトロ』2016年3月号 | 『日本舞踊』68巻3月号 |
| 『ラ・アルプ』2016年3月号 | 『日本舞踊協会報』2015年10月 |
| 『演劇界』2016年4月号 | 『悲劇喜劇』2016年3月号 |
| 『喝采』2016年6月 | 『邦楽の友』平成28年3月号 |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 『FLIX』2016年4月号 | 『ピクトアップ』2016年4月号 |
| 『NFCカレンダー』2016年3月号 | 『映画テレビ技術』2016年3月号 |
| 『NFCニューズレター』2016年2月-3月号 | 『映画ビジネス』平成28年2月特別号 |
| 『SCREEN』2016年4月号 | 『映画芸術』2016年冬号(454号) |
| 『エキブ・ド・シネマ』2016年No.209 | 『映画撮影』2016 Feb No.208 |
| 『キネマ旬報』2016年3月上旬号,3月下旬映画業界決算特別号 | 『映画時報』2016年2月号 |
| 『シナリオ』2016年4月号 | 『映画秘宝』2016年4月号 |
| 『シナリオ教室』2016年3月号 | 『衛星劇場プログラムガイド』2016年3月号 |
| 『ドラマ』2016年3月号 | 『日経エンタテインメント!』2016年3月号 |
| | 『日本アカデミー賞協会会報』78号 |

■ 松竹系 2月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 新書太閤記』	○			
	『ひらかな盛衰記 源太勘當』	○		○	○
	『籠釣瓶花街酔醒』	○			
	『小ふじ此兵衛 浜松風恋歌』	○			
新橋演舞場	『名代 きつねずし』	○			
	『単身赴任はチントンシャン』	○		○	○
	『じゅんさいはん』	○			
三越劇場 (日本橋)	『おぼこ』	○		○	○
	『渡辺えり愛唱歌』				
松竹座 (大阪)	『地獄八景亡者戯』	○		○	○
	『船辨慶』	○			
博多座	『正札附根元草摺』			○	○
	『二人藤娘』				
大塚国際美術館	『美女と野獣』	○		○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	2月	TRASHMASTERS『猥り現』プログラム
オーチャードホール	2月	『市川海老蔵GRAND JAPAN THEATER』プログラム
王子小劇場	1月	深夜ガタンゴトン『つきまとう教室』プログラム
神奈川芸術劇場	1月	『JAM TOWN A NEW MUSICAL』プログラム
吉祥寺シアター	2月	オペラシアターこんにゃく座『オペラクラブマクベス』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	2月	劇団民藝『光の国から僕らのために』プログラム、台本
国立劇場小劇場	1月	『長唄の会・三曲の会』プログラム 『村の組踊』プログラム』
国立文楽劇場	1月	『文楽公演』プログラム、床本 『文楽研修生発表会』プログラム
ザ・スズナリ	1月	劇団東京乾電池『十一人の少年』プログラム
	2月	個人企画集団ガマ7発動期『明日から来た男』プログラム
シアタークリエ	2月	オフィスコトナー『屋上のペーパームーン』プログラム 『ミュージカル 花より男子』プログラム 『スパークリング・ヴォイス』プログラム
シアターコクーン	1月	『元禄港歌 千年の恋の森』プログラム
シアタートラム	1月	劇団俳優座『城塞』プログラム、台本
下北沢駅前劇場	1月	劇団子供鉦人『重力の光』プログラム
	2月	浮世企画『ザ・ドリンカー』プログラム
下北沢小劇場楽園	2月	糸あやつり人形“一糸座”古典人形芝居『釣女・田能久』プログラム
新国立劇場小劇場	1月	演劇研修所終了公演『噛みついた娘』プログラム
	2月	『僕のリヴァ・る』プログラム
青年座劇場	1月	劇団青年座『俺の酒が呑めない』プログラム、台本
世田谷パブリックシアター	1月	二兎社『書く女』プログラム
帝国劇場	1月	『JOHNNY'S World』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	1月	ハイバイ『夫婦』プログラム
俳優座劇場	1月	東京芸術座『勲章の川』プログラム、台本
博品館劇場	2月	DIAMOND★DOGS『CHOCO DREAM』プログラム OSK日本歌劇団『カンタレラ2016 愛と裏切りの毒薬』プログラム
明治座	2月	『おトラさん』プログラム
早稲田小劇場どらま館	1月	岡崎藝術座『イスラ!イスラ!イスラ!』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『シネマ歌舞伎 喜撰 11 棒しばり』	○		○		
『オートマタ』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- 『ゾンビスクール!』 『ローカル路線バス乗り継ぎの旅 THE MOVIE』
 『X-ミッション』 『劇場版 selector destructed WIXOSS』
 『ヘイトフル・エイト』 『ザ・ブリザード』
 『ひつじのショー ンスペシャル いたずらラマがやってきた!』

■ 書 籍 ■

『愛之助が案内 永楽館ものがたり』	片岡愛之助 - 6世+清水まり (著)	集英社
『女興行師一代 京都四條南座の盛衰記』	下八十五 (著)	文芸社
『歌舞伎四〇〇年の言葉 学ぶ・演じる・育てる』	堀越一寿 (編著)	芸術新聞社
『市川海老蔵 成田屋の粋と艶』		小学館
『G 尾上松也』	網中健太 (撮影)	ガンビット
『六代目中村勘九郎写真集』	篠山紀信 (写真)	光文社
『二代目中村七之助写真集』	篠山紀信 (写真)	光文社
『十八代目中村勘三郎写真集』	篠山紀信 (写真)	光文社
『夢を見ない、悩まない』	市川左團次 - 4世 (著)	サイゾー
『菊之助の礼儀』	長谷部浩 (著)	新潮社
『播磨屋一九九二二〇〇四 中村吉右衛門 稲越功一作品展』	稲越功一 (著)、おくだ健太郎 (演目解説)	JCIフォトサロン
『市川染五郎 人生いろいろ染模様』	市川染五郎 - 7世 (著)	世界文化社
『四代目市川猿之助』	長塚誠志 (写真)	パイインターナショナル
『四代目 鷹治郎への軌跡』 楓大介 (写真)、産経新聞社文化部・亀岡典子 (執筆)	マリアパブリケーションズ (発行)、実業之日本社 (発売)	
『演目別歌舞伎の衣裳鑑賞入門』	丸山伸彦 (監修+執筆)、漆澤その子 (執筆)	東京美術
『歌舞伎の化粧』	長谷一美 (編著)	雄山閣
『日本映画雑誌所在調査報告書』	笹川慶子 (編著)	笹川慶子
『映画館 中馬聰写真集』	中馬聰 (写真+著)	リトルモア
『高峰秀子かく語りき』	高峰秀子 (著)、斎藤明美 (編)	文藝春秋

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2015年12月~2016年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、劇団四季、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、日本映画テレビ技術協会、劇団青年座、シアタークリエ、劇団山の手事情社、(有)アゴラ企画、アール・ユー・ピー、邦楽の友社、帝国劇場、演劇出版社、国立劇場、キネマ旬報社、文学座、劇団民藝、一般社団法人日本民間放送連盟、関西・歌舞伎を愛する会、双蝶会、シーエイティプロデュース、デアゴスティーニ・ジャパン、丸善出版株式会社、公益社団法人日本俳優協会、歌舞伎学会、ロングランプランニング株式会社、株式会社カモミール社テアトロ編集部、公益社団法人日本照明家協会、伝統文化新聞、フィルムセンター、博多座、東宝株式会社、日本芸術文化振興会、長島照子、森田郷平、株式会社東急文化村、加藤健一事務所、公益社団法人日本演劇興行協会、岩波ホール、(株)近代映画社、パルコ劇場、(株)CLIE、(株)講談社、キョードー東京、銀座百店会、花組芝居、おもだか会、前進座、名古屋芸能文化会、阪急文化財団、ポラ文化研究所、無声映画鑑賞会、劇団俳優座、日本近代文学館、東京都江戸東京博物館、博物館明治村、関西常磐津協会、日本シナリオ作家協会、一般社団法人義太夫協会、世田谷文学館、人形劇団ブーク、日本映画テレビプロデューサー協会、日本ウニマ (国際人形劇連盟)、新歌舞伎座、三越劇場、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、俳優座劇場、株式会社新潮社、尾上松之助遺品保存会、紀伊國屋ホール、古賀宗岳、可児市文化芸術振興財団、黒澤明研究会会誌、明治座、佐部浩、岩倉達、若林さだ吉、社団法人日本演劇協会、神奈川県演劇連盟、銀座 博品館劇場、劇団銅鑼

どうもありがとうございました

大学図書館問題研究会関東五支部合同例会講演会 「松竹大谷図書館のクラウドファンディングによるプロジェクト」

2016年1月30日 発表者：武藤祥子

去る1月30日に、大学図書館問題研究会の関東五支部合同例会に招いて頂き、当館が4回に亘って取り組んだクラウドファンディングについて報告をさせて頂いた。

大学図書館問題研究会東京支部

講演会：松竹大谷図書館のクラウドファンディングによるプロジェクト（関東五支部新春合同例会）

<http://www.daitoken.com/tokyo/event.html>



大学図書館問題研究会<http://www.daitoken.com/>は大学図書館の職員を中心とした、大学図書館についての研究団体である。基本的に、全国各地にある14の支部ごとに活動が行われ、それぞれ発表形式の例会や講師を外部から招いての講演会、大学図書館の見学会やワークショップなどを開催、また業務上の情報交換・支部報の編集発行など、さまざまな活動を行い、年1回は全国大会も行われる。(余談であるが、この全国大会では、各支部の地酒が和洋を問わず持ち込まれ、利き酒大会が行われるという大変魅力的な企画が開催されること)。今回参加させていただいた関東五支部(群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)合同の新年の例会では、図書館に限らず、本に関する話題や大学教員の講演など、幅広いテーマを

取り上げているようで、今回は専門図書館における特色ある取り組みという事で、当館のプロジェクトについて紹介する時間を頂いた。

当日は、筑波大学東京キャンパス文京校舎の近代的な講義室を会場に、お集まり頂いた28名の大学図書館のエキスパートの方々に前して緊張しながら、パワーポイントを使って約1時間の報告を行った。まずは参加された方々が、あまり専門図書館との交流が無いとの事で、当館の概要、所蔵資料の特徴、スタッフとその業務、利用方法などについて紹介し、また図書館関係者の集まりという事で、当館の特色あるレファレンスの内容について話した。

クラウドファンディングの報告では、図書館の業務を行いながら、プロジェクトに取り組むことで苦勞した点や、所蔵資料を活用したリターンの説明、プロジェクトで取り組んだ所蔵資料のデジタル化など、図書館員が実行したプロジェクトだからこそ、お伝えできる内容にした。



皆さん熱心に聞いて下さり、報告が終わった後も、資料のデジタル化や、プロジェクトの計画や準備に要する時間など、細かいご質問を頂いた。また、後日頂いたアンケート結果では、

「図書館の広報、支援の輪の広げ方について勉強になりました」「リターン、何を事業の対象とするか？というところのアイデアがすばらしく、さすが所蔵資料や寄附をされる方のことをよく知っていらっしゃるなあと感嘆しました。」「『インターネットからはじまって人と人の生身のつながりへ』という言葉が印象的で、大学図書館でも何か取り組むことができるのではないかと考えさせられました。」「クラウドファンディング、デジタル化というところに興味があって講演をお聞きしていましたが、日常のレファレンス業務についてのお話も大変おもしろく、専門図書館の奥深さを感じました。支援を通じて利用者の方ととても良い関係を築けていらっしゃるのが素敵だなと思いました。」など、図書館関係者ならではの感想・ご意見を頂くことができた。

実は、当館のクラウドファンディングでは、図書館関係者からの支援も大変多く、同じ図書館を職業とする方からの支援は、非常にスタッフの励みとなっている。今回の講演も、実は支援者の方からお声掛け頂き、実現する事となった。こうした事からも、クラウドファンディングをきっかけに、図書館と図書館、そして人と人との繋がりがより深まった事を実感している。

立命館大学アート・リサーチセンター 日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点 2015年度 成果発表会参加報告

2016年2月20日 発表者：武藤祥子

立命館大学アート・リサーチセンターでは、2014年より文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されたことを受けて、日本文化の有形・無形文化財のデジタル・アーカイブを研究テーマとする共同研究を募集した。当館は「演劇上演記録のデータ・ベース化と活用、ならびに汎用利用システム構築に関する研究」という研究課題で、この共同研究プロジェクトに2014年度より採択され、本年度も引き続き活動している。この共同研究プロジェクトの2015年度成果発表会が、2016年2月19日から20日にかけて、京都の立命館大学衣笠キャンパス内にあるアート・リサーチセンターで、各プロジェクトの研究代表者により行われ、当館は2日目の2月20日の第1部[9:30-10:45]に、成果報告を行ってきた。



当館が行っている「演劇上演記録のデータ・ベース化と活用、ならびに汎用利用システム構築に関する研究」という研究は、タイトルこそ難しいが、当館が管理している**演劇上演記録**のデータのうち過去の記録のデータを、より精緻な内容にする活動のことである。当館は昭和33年の開館以来、演劇資料整理の基礎となる「上演情報」を管理するため、**演劇上演記録**を作成してきた。この**演劇上演記録**は、主に明治初年から戦前までの東京の記録と、戦後の各地の大劇場、及び東京の小劇場の記録で、元々カード式によって管理されていたものであるが、このカード式の演劇上演記録については、全てのカードの情報（「タイトル」「上演年月」「劇場」など）が、データとして入力が完了している。この研究では、この

基本データの不完全な情報について、劇場プログラムなどの資料を典拠に考証を行い、「興行名」「スタッフ」「初日」「千秋楽」などの情報を追加し、データの精度を上げることを主な目的としている。

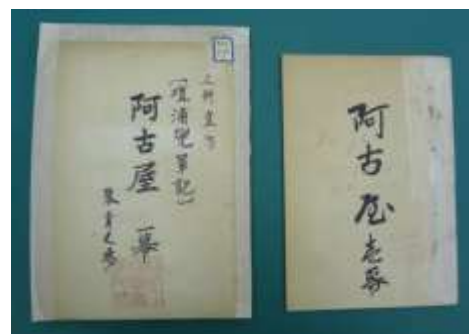
考証作業は劇場プログラムを典拠とする事が多いので、効率よく進めるため、基本的には劇場別に行う。本年度は、梅田コマ劇場、浅草松竹座、邦楽座、読売ホール、前進座劇場、都市センターホールの考証作業を終える事が出来た。また、ジャンル別の考証として、昨年度は新派公演の考証作業を終え、現在は検索システムの構築とWeb公開を目指している。本年度はさらに舞踊公演の上演記録の考証作業を開始し、こちらは次年度も続く予定である。

成果報告の最後に、共同研究プロジェクトの他に、アート・リサーチセンターの協力の元、当館が進めている所蔵資料のデジタル化について、平成26年10月21日にWeb公開した【義太夫正本検索・閲覧システム】と、また平成28年1月15日に同じくWeb公開した【芝居番付検索・閲覧システム】についても紹介を行い、20分間の発表を終えた。



発表の後には、クラウドファンディング【第4弾】プロジェクトで頂いた支援でデジタル化を計画しているGHQ検閲歌舞伎台本の修復方針について、立命館大学の赤間亮先生と打合せを行った。今回のプロジェクトでは、台本の全頁を撮影するという事で、撮影カット数が多く、修復については、あまり資金を割く事が出来ないにも関わらず、修復済の台本を見本として見せて頂いたところ、アート・リサーチセンターのスタッフの方により大変丁寧に補修

して頂いており、手厚い扱いに感動した。この検閲台本についても、いずれは【検索・閲覧システム】を公開する予定であるが、今から非常に楽しみである。



■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年2月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



雛祭りに可愛らしいケーキをいただきました！
美味しくいただきました。



新派のGHQ台本のカードをチェックしています

▼編集後記
現在、二週間の春期特別整理休館に入っております。大量寄贈された資料の所蔵チェック及び登録や、所蔵資料の大規模な書架移動の準備など、この休館期間中に集中して取り組める作業に勤しんでおります。利用者の方にはご不便をおかけいたします。

■春期特別整理休館のお知らせ■
現在、資料整理のため
平成28年3月16日（水）
まで休館しております。
平成28年3月17日（木）より
通常どおり開館いたします。



●利用案内●
開館時間
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。
閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料
●交通案内●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分